

木のぬくもりを感じて 木育推進事業 誕生祝い品贈呈

福島県森林環境交付金を活用し、昨年誕生した20名の赤ちゃんに町産杉で作ったオリジナルの木製フォトフレームを贈りました。村上利通町長が菊池澄衣ちゃんのお宅を訪問し、名前や手形が彫刻されたフォトフレームを手渡しました。澄衣ちゃんのお母さんは「立派なフォトフレームをいただけて、とてもうれしいです。成長していく姿の写真を飾りたいと思います」と笑顔で話しました。



木製フォトフレームを受け取る菊池さん家族

農業の担い手を育成

くにも農業ビジネス訓練所長期研修生入講式

くにも農業ビジネス訓練所長期研修生入講式が4月3日、同訓練所で行われ、佐藤博志所長から長期研修生2名に入講許可書が手渡されました。

長期研修生は今後1年間にわたり、野菜栽培と農業経営などの講義や野菜の作付けから収穫までの実践など、新規就農に向けて学んでいきます。将来の地域農業の担い手になることが期待されています。



入講許可書を受け取る長期研修生の青木直彌さん

新入児童の交通事故防止のために ランドセルカバーを贈呈

国見ライオンズクラブ（岩崎賢治会長）と国見町交通安全協議会（村上利通会長）は4月3日、国見小学校の新入学児童37名に交通安全ランドセルカバーを贈呈しました。贈呈式は国見町役場で行われ、紺野副会長から五十嵐隆之国見小学校校長へ黄色いランドセルカバーが手渡されました。岩崎会長は「児童の交通安全に引き続き協力していきたい」と話しました。



国見ライオンズクラブからランドセルカバーを贈呈

子どもたちの安全・安心を 新学期に啓発活動、通学環境を把握

春の交通安全運動期間に合わせて4月9日、町と町教育委員会は国見小学校のスクールバス利用児童に対して交通安全の啓発活動を行いました。

村上町長と石幡教育長が森江野地区のスクールバスに乗車し、置き去り防止装置の動作確認を行うとともに、集合場所の安全を確認するなど、スクールバスでの通学環境を把握しました。



置き去り防止装置を確認する村上町長、石幡教育長

国見町消防団・団長が受章！ 地域を守る力に栄誉

竿頭綬・永年勤続功労章

令和7年度消防功労者消防庁長官表彰において国見町消防団が「竿頭綬」を、佐藤武団長が「永年勤続功労章」を受章しました。長年の活動と地域への貢献が高く評価されたものです。



村上町長へ受章を報告する佐藤武団長（中央）と齋藤幸雄副団長（右）

国見町消防団

竿頭綬 受章 地域を守り続けた功績が評価

国見町消防団は、消防団体として最高の栄誉の一つである「竿頭綬」を受章しました。

平成23年から消防署との連携強化に取り組み、役割分担の明確化と指揮体制の一本化を推進。火災現場では消防署と同一場所に指揮本部を設置し、情報の一元化と迅速な意思決定を実現しています。

また、中継水や水利確保などの後方支援により効率的な消防活動に貢献するほか、団員の資質向上を目的とした教育訓練を継続的に実施。東日本大震災や台風19号災害では避難誘導や救助活動に従事し、近年の林野火災でも迅速な初期対応により被害の最小化に努めてきました。

これらの継続した取り組みと確かな現場対応力が高く評価され、今回の受章につながりました。今後も地域防災の要として、住民の安全と安心を守り続けます。



竿頭綬とは
消防団体としての功績が特に顕著で、他の団体模範となる団体に授与される、消防団体の最高の栄誉の一つです。

佐藤武 団長

永年勤続功労章 受章 32年にわたり地域防災に尽力



表彰状を受け取る佐藤武団長（表彰式）

平成5年に国見町消防団に入団以来、32年の長きにわたり誠実に職務に従事し、地域防災の最前線で尽力してきました。

平成31年からは分団長として訓練や消防戦術の向上に取り組み、団全体の力の底上げに貢献。東日本大震災では班長として発災直後から避難誘導や警戒活動を指揮し、台風19号災害でも日ごろの訓練を生かした迅速な対応を実現しました。

さらに、令和6年のあつき山林野火災では副団長として現場指揮を担い、人的被害を出さず対応するなど数々の現場で地域防災を支えてきました。

その誠実な姿勢と確かな指導力は、団員や地域住民から厚い信頼を集めています。

功労章とは
永年勤続
消防団員として長年にわたり消防業務に従事し、功績が顕著な者に授与されるものです。